

滞在型・循環型保養温泉地 実現プロジェクト

対象とする課題

由布市の観光は、全国的な知名度を有する温泉地を抱え、観光地としての認知度は高く、国の内外を問わず多くの観光客が訪れており、市の産業の中心的な存在の一つでもあり、市の持つ強みともなっています。そういった中、競争力の高い魅力ある観光まちづくりを持続可能とするために以下のようなことが課題となっています。

- ① 観光基盤の整備 ② 情報発信 ③ 人材育成

目 標

由布院温泉を核として由布市全体を魅力溢れるものにし、競争力の高い魅力ある「滞在型・循環型保養温泉地」を目指し、持続可能なまちづくりに貢献します。

基本方針

- ① 観光基盤の整備
- a) 受入れ環境整備
 - b) 情報発信拠点の整備
- ② 情報発信
- a) 正確な観光基礎数値に基づく科学的なデータ分析を行い戦略的な情報発信の確立を目指す。
 - b) 観光戦略と観光施策の情報共有と一元化した情報発信組織の確立を目指す。
 - c) 観光客動線と商店街活性化とを結びつけた情報発信の検討
- ③ 人材育成
- a) 訪日外国人、国内旅行者対応等の人材育成方針の策定及び研修
 - b) 市民との協働による、人づくり・組織づくりの検討、育成

成果指標

指標名	直近値	目標値	指標の説明
平均滞在日数	1.10 日（H26 年度）	1.13 日以上（H32 年度）	宿泊者の由布市滞在日数
年間宿泊客数	75.0 万人（H26 年度）	77.1 万人（H32 年度）	年間宿泊客数延べ人数

推進体制

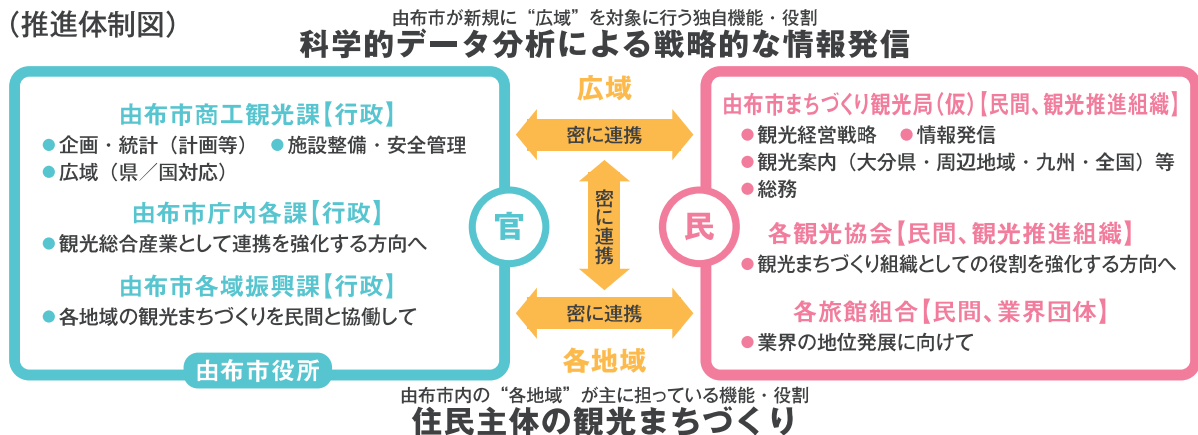
〔1〕官民の役割分担の明確化

共通の目的、目標のもと、それぞれの役割を果たし、地域全体に資する取り組みを行います。観光行政は、企画・統計、施設整備・安全管理、広域の対応等を、民間組織は、情報発信や観光案内、販売促進活動等を行います。

〔2〕各地域における観光協会と旅館組合の役割分担の明確化

役割分担を明確に行い、各組織がそれぞれの目的に沿って取り組むことが望ましいと考えられます。具体的には、観光協会は、地域の観光まちづくりを推進し、旅館組合は、業界団体として地位向上、発展に向けた取り組みを推進することがその役割として期待されます。

(推進体制図)



目標実現に向けた主な取り組み

	主な取組名	取組内容の説明	担当課	関係課
1	観光受入環境基盤整備の取り組み	国内外の観光客へピクトグラム(絵文字)等を活用した案内標識、Wi-Fi環境の整備、「滞在型・循環型保養温泉地」としての拠点施設の充実を図る。	商工観光課	関係課
2	観光情報発信の組織体制確立及び一元化の取り組み	正確な観光動態数値等に基づく、科学的データ分析による戦略的な情報発信すべき内容の検討と、実施する組織体制づくりを行う。観光客動線と商店街活性化とを結びつけた情報発信の検討。	商工観光課	関係課
3	観光人材育成の取り組み	訪日外国人、国内旅行者対応等の人材育成方針の策定及び研修を実施し、より深い細やかなおもてなしの実行へつなげる。	商工観光課	関係課

目標実現に向けたステップと5カ年のスケジュール

- 観光行政を推進するにあたって、観光客を受け入れる観光基盤整備は、必要不可欠なものです。特に著しい伸びを示す外国人観光客に対する対応の基盤整備は急務であり、優先順位の上位に取り組むべきものとして、まずは必要な基盤整備に取り組んでいきます。
- 新たに立ち上げる観光推進組織の中で、観光に関する基礎数値を正確に収集し、そのデータを科学的に分析した上でのマネジメントと情報発信こそが競争力の高い持続可能な観光地をつくることから、戦略的に観光と地域経済との循環を結びつける情報発信の取り組みを実施します。
- 質の高い観光地を目指し維持していくには、それに関わる人がいかに高い意識を持っているか否か、量的にも人材が確保できているか等を含め、質と量の両面を満たす必要があります。その両面確保と、市民の関心や共通理解を得る取り組みを実施します。

	主な取組名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
1	観光受入環境基盤整備	実施				
2	観光情報発信の組織体制確立及び情報発信一元化事業	調査研究	実施	検証		
3	観光人材育成の取り組み	人材育成方針決定				



滞在型・循環型保養温泉地
実現プロジェクト

